

# 川崎ブランドデザイン100周年事業

Kawasaki Brand Design 100th-Anniversary Exhibition



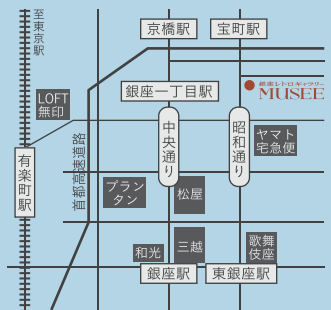
近代建築 MUSEE の立面をモチーフとして、ギャラリーがこれから積み重ねる未来をグラデーションで表現している。また、ロゴを回転させることで、川崎ブランドデザイン100周年(K100)を表現し、MUSEE・川崎ブランドデザイン、両方の永続的発展を目指す。



川崎ブランドデザイン有限会社 代表取締役 ディレクター  
**川崎 力宏**  
銀座レトロギャラリー MUSEE 代表 中小企業診断士 本展プロデューサー

川崎ブランドデザインは、おかげさまで創業100周年を迎えました。創業者が指し示した「誠実」という社訓を、建築事務所、建設会社、企画ギャラリーと時代と共に形態を変えつつも、100年間守り貫いて参りました。全てのプロジェクトに堅実に取り組み、多くのお客様と関わり、それが支え、励みとなり迎えた100周年です。ここに深く感謝申し上げます。

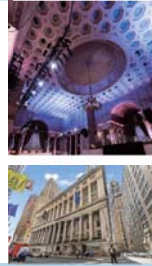
東京銀座、そして新たに取得したNYウォール街という2大拠点から、建築やアートの可能性を追求し、都市景観を考えるきっかけになる企画を生むことが、次の100年に向けた礎となります。本展は、その試金石となる展覧会です。心ゆくまでお楽しみ下さい。



銀座レトロギャラリー  
**MUSEE**

〒104-0061 東京都中央区銀座1-20-17  
川崎ブランドデザインビルディング  
http://kawasaki-brand-design.com/  
tel: 03-6228-6694  
営業時間: 11:00~18:00 (水曜~日曜)

## 海外展開 2017-



### NY ウォール街を軸に国際展開

2017年、創業100周年。ニューヨーク金融街の歴史を創った旧証券取引所ビル(55 Wall Street / 築180年)を取得。同時に、米国法人 Kawasaki Brand Design INC. を創設。躍動する国際経済との連携を視野に英国リバプール、バンコク、ホーチミン、フィリピンセブ...と未来の都市景観に投資をしております。建築、デザインに挑み続けた100年。国境を超えた新たな挑戦が今、始まっています。

## 銀座 2012-



### 銀座の歴史を語る近代建築を舞台に、企画展を開催

2012年、都内に独立し、銀座の不動産を取得。建替えによる解体を阻止し、保存を決意。銀座に残る近代建築の魅力を引き出し、銀座レトロギャラリー MUSEE(ミューゼ)を開廊。観る者の思考力を掻き立てるべく、都市景観と時間軸、現代世相を反映させた美術をテーマに、作家、建築家とともに企画展を開催。また、有名ブランドの企業ブランディングプロモーションに参画するなど、常に新しい価値観を発信しています。



「近代建築100選」昭和7年竣工。銀座の歴史を語る、スクラッチスタイルが美しい希少な近代建築

【鹿野裕介展】銀座生存のプログラム

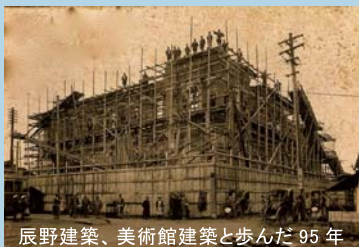
【平下美理展】忘れえぬ景色

S K-II 最上級ライン 新商品発表イベント

【倉品雅一郎展】人狩人の憂鬱

【ロマン・モーザ展】モダニズムの曙

## 大分 1917-



辰野建築、美術館建築と歩んだ95年

### 総ては、ここからはじまった

1917年(大正6年)、東京駅を設計した辰野金吾博士による、重要文化財赤レンガ館の施工に携わり、創業しました。以来4代に亘り、誠実という社訓のもと「名建築を後世に残す」美意識を持ち、九州を代表する建設会社に育て上げました。宇佐神宮 宝物館、大分市美術館など美術館建築に関わり、建築家や美術家の思考に触れ、コラボレーションを実現。九州大分を中心に95年間、都市創りに邁進いたしました。



創業者 川崎喜一(1895-1975)雄姿として「辰野式」、明治正統派の洋館建築を手がける。



戦災で外壁のみ残り焼失。2代目川崎力太(1923-83)が修復。戦後復興の象徴として市民に歓迎された。昭和24年頃。



バブル期の建替計画を、3代目川崎裕一(1953-2011)が銀行に直談判し阻止。95年リニューアルし BELCA 賞受賞。



モダニズム日本建築で有名な大江宏による宇佐神宮宝物館。美術館建築の名手、内井昭蔵による大分市美術館。



伝説の美術集団ネオ・グダで活躍した風倉匠(1936-2007)と文化都市のあり方を模索。由布院の地域おこしに深く携わる。

# 銀座、次の100年のためのスタディ展

Exhibition: Studies of Ginza, to the next 100 years

2017.1.4(水)~2.19(日) 11:00-18:00

※期間中の月、火(1/10-11, 16-17, 23-24, 30-31, 2/6-7, 13-14)は休廊

【場所】銀座レトロギャラリー MUSEE(ミューゼ) 【料金】入館無料



## MUSEE の可能性を引き出す

銀座の未来について考える企画展と聞いて、そんな思いが浮かびました。銀座には時間の中で培ってきた多くの魅力・蓄積があります。しかしその豊かさ故に、未来が描き難いとも言われています。銀座のみならず、明治維新・敗戦・高度成長期と『不足』をバネに未来を描いてきた日本にとって、次の100年は、それに代わる新しい価値観が求められているようにも感じます。

MUSEE は築100年にも届こうとする建築です。超高層ビルも建ち始めた銀座において高さ10m程の大きさで昭和通りに踏み張り続けるその姿は、微笑ましくもあり、未来に向けた新しい価値観・メッセージを、すごく小さな声で発しているようにも思えます。

MUSEE は一体どんなメッセージを発しているのだろう。その声は大きく出来ないのか。それが本展のテーマです。

本展では、1・2・3階そして屋上に、それぞれ1つずつ、銀座を考えるための展示室を計画しました。それぞれの部屋には、訪れた人々が銀座について考え、語り合えるようなテーマが設定されています。収集物や学生たちの提案、リサーチにインスピレーションと、出品作品も多岐にわたります。

建築の完成に向け、検討を繰り返すことを『スタディ』といいますが、この展覧会と言わば銀座の未来を共に考えるためのスタディ展です。この場所が、銀座の未来について考え、語り合い、何らかの想いを持ち帰ってもらおう...そんな場所になってもらえればと考えています。それは展覧会の目標でもあります。ひょっとしたら、それはMUSEEの可能性そのものなのかもしれません。

建築家 菊池甫・山本展久